

エスカルゴコンテスト顛末記

JJ1SXA/池

一昨年 7 月 15 日に実施された「エスカルゴコンテスト」、ご存じのように、縦振れ電鍵によるコンテストです、何年ぶりかに参加し、初めてシニア部門でログ提出し、結果は 2 位でした、1 位の局に局数は勝っていたが、マルチの差で負けました。

そんなこともあり、ボケ防止の一環で、昨年も参加しました、何が何でも参加するぞとの思いで事前に皆さんに公言したところです。

GP アンテナに 50 ワットと、あまりパツとしない設備での参加でしたが、2 時間中約 20 分くらい中抜けしたので、実質 100 分で、44QSO でした。(50QSO のつもりだったが重複や不備が合計 6 局あった)

まずまずの成績かなと思いますが、もう少しましな信号が出せるつもりが、実際には、よれよれの下手糞な CW しか打てず、SXB にも何て下手糞な CW だと馬鹿にされました。hi

それはさて置き、ログ・サマリーの提出をのんびり構えていて、締め切りぎりぎりまで、さて、作成の段階で、ログ・サマリーの用紙を印刷してと、作業を始めたら、プリンターが不調、まともに印刷できず、プリンターをああでも無い、こうでも無いといじくり回してみたが、時間を浪費しただけ、骨折り損のくたびれもうけ。

ログ提出は諦めようかと思ったが、まあまあ得点、簡単にあきらめきれず、そこで、はたと思いついたのが、コンビニで USB メモリーからの印刷という手があることに思いつき、早速、喜び勇んでコンビニへ出かけたが、何と USB を認識しない、家に帰って原因追及、例によって Google 先生にお願いだ。

「使用する USB メモリーがコピー機と互換性がない可能性があります」というのもあった、おいおいそんなこともあるのか、また「USB にあるデータは一つですか」というのもあった、それではと、最新の USB メモリーにデータを入れてみた、だが、印刷したいデータは二つ、とりあえず別の二つの USB に PDF 一つずつ入れ、USB3本を持って再度コンビニへ、無事用紙印刷終了。

もう頭は「紙ログ郵送」しかない、何とかサマリー・ログが完成、29日の夕刻だ、30日消印有効とのことだから、何とか駆け込みセーフと安心だが、31日に、エスカルゴのHPで、ログ受付リストを見たら、最後は、30日受付分の他の局のコールサインのみで、私のコールサインは無い、また、冒頭に「書類受付を締め切りました」の記載。

31日にメールで問い合わせたら、書類は届いていませんとの回答、立川郵便局に問い合わせたら、29日・30日は平日なので、30日消印で配達されますとのことだが、宛先が和光市ですと配達は8月2日以降ですと言われた。

その旨をコンテスト担当者にメール、普通郵便でも和光市宛がそんな日数を要するとは思ってもいなかった。

担当者からは、30日消印は間違いなさそうだから受付有効でしょう、集計を始めているので、メールでサマリー・ログを送れとの依頼、何時もならコピーが手元にあるのだが、プリンター故障のためコピー無し、再度、作成し、添付ファイルでは無く、本文に貼り付けて送れの指示通り、本文に貼り付けて送信完了、最初からこれをやれば良かった、プリンターは関係なかったのだ、つくづくヘマなことをした。

8月2日、担当者より、「立川局7月30日消印の書類、本日届きました、その旨、WEB担当にも伝えたので、近日中に受付リストに掲載されると思います」とのメールが来た。

コンテスト終了から間を置かず、サマリー・ログは提出すべき、のんびり構えてはいけなと大反省でした、また、プリンター故障で頭真っ白、メールで送ることなど、どこかへ吹っ飛んで、郵送手続きしか頭に無かった、どうしようもないボンクラを自覚させられた。

何か支障が起きた時は、慌てずに、少し間をおいてゆっくり考える、それで、ほぼ問題は解決と、肝に命じているはずが、今回は時間が無いということばかり頭から離れず、いつもの鉄則はカケラも浮かばなかった、が、結果は、シニア部門1位の成績、GPアンテナでの参戦だから良しとしよう、ログ提出を諦めなくて良かった。（2024年12月記）

注:この記事も、PCの不調で、一時行方不明になっていた。